

この瞬間

平成30年8月 vol.10

りなの森

日常の中だからこそできる
無理なく気持ちに寄り添う支援



Y様

現在の
状態

年齢：66歳
介護度：要介護4
既往歴：うつ病・パーキンソン病
認知症高齢者の
日常生活自立度：IV

(平成27年11月3日入居)

平成30年2月3日 誤嚥性肺炎のため入院

入院当初、経管栄養を検討しなければならないレベルまで経口摂取ができない状態となる。その後、経口摂取可能なレベルまで回復するも、体重が大幅に減少。

(入院前：55kg → 退院時：40kg)

長期間のベッド上の生活により、筋力が低下してしまい、車椅子移動となった他、気持ちの落ち込みが著しく、否定的な発言をされるようになる。

平成30年4月11日 退院・サービス担当者会議

退院時の担当者会議で、今後の対応について協議。

施設と訪問介護事業所が連携し、車椅子→自立歩行を目指した支援を開始。

また、積極的な声掛けによってメンタル面でのケアも行っていく。

施設

- 体感を鍛えるために、声掛けを行いながら、半日程度離床できるようにする。
- 体力をつけるため、食事摂取量を確認し、食事をできるだけ多く摂取できるように声掛けを行う。
- まずは車椅子の自走になれるため、職員見守りの元で20m程自走できるように支援する。

訪問

- 朝昼夕の1日3回の支援を開始。
- 車椅子を自走できるようになるために、支援時に、ヘルパー見守りの元自走してもらう。



平成30年4月～



退院当初は、車椅子のブレーキの掛け方、自走の仕方が分からない様子だったが、一つずつ声掛けし、徐々に車椅子を動かせるようになる。

途中で、「疲れた。」「もう無理だ。」と止まってしまうことが多かったが、その度に励ましながら、なんとか居室からトイレへ、居室から食堂へとご自分で行けるようになる。

平成30年6月

退院時に低下していた食事量も、毎食の声掛けにより全量摂取できるようになり、40kgまで減少していた体重も46kgまで増加。移乗時の立位も、安定して保てるようになる。



平成30年6月22日 サービス担当者会議

立位保持が安定してきており、体力もついてきたため、歩行器の導入を決定。リハビリを行うことも提案されたが、元々、本人の精神状況が不安定であり、リハビリは精神的にプレッシャーを感じて追いつめられてしまう可能性がある為、訪問介護の支援時を中心に歩行器の使用を開始することとなる。

担当者会議後～現在

始めのうちは、見守りがある時のみ、歩行器の使用を開始。ブレーキの掛け方を教えたり、歩行状態を確認しながら、徐々に歩行器にも慣れてきた。現在では、ご自分でトイレや食堂までの移動を自由にできるようになった。自由に移動ができるようになったことで、弱音を吐くことが多かった Y 様から、「歩けるようになりたい」という希望が聞けるようになった。



お問い合わせはこちらまで

医療特化型

住宅型有料老人ホーム

りなの森

静岡県沼津市大諏訪234

055-952-7770

<https://rina-mori.blogspot.jp>



施設見学随時受付中

☆毎週土曜・日曜も施設見学会開催中☆

 株式会社 e-care

0120-968-758

静岡県沼津市高島本町16-16
三井生命沼津高島本町ビル2階

<http://www.e-care.co.jp/>

